

◆事前活動

プログラム作成(聞き取りシート)

この「プログラム作成 (聞き取りシート)」は、必ずしも作成しなくてはいけない ものではありません。ただ、教員の思いや研修のねらいが明確であれば、私たちスタッフもより良い支援ができます。子どもにとっても、教員にとっても素晴らしい体験 ができるようにプログラム作成を一緒に考えたいと思っています。

団体名		プログラム責任者			
TEL	E-mail				
利用日(日程)	入所時間		退所時間		
/ ~ /	時	分	時	分	
対象(学年・クラス数)	人数(男女	比)	生活班の人参	数と班数	
学年 クラス	男 人	女 人	人	班	
引率の人数	引率の指導	引率の指導経験		講師の有無	
人	. 有 ·	無	ボランティア	要•不要	
			講 師	要•不要	
予算(教材費)	予算(指導謝金は可能か)		か)		
	円		可 · 不可		
指導者の思い(身に作	付けさせたい	力・伸ばし	たいカ)		
重視したいポイント					
取り入れたい活動					
子どもの現状	子どもの現	子どもの現状		(その背景は?)	
(良い面)	(課題)				

プログラム作成から評価に至るまでの全体の流れを右表 の「役割分担確認表」でご確認下さい。自然体験活動の支援 をする全体指導者の依頼がありましたらご連絡下さい。

また、プログラム作成時において本施設職員も一緒になってプログラム立案をお手伝いいたします。その際には、上記の「プログラム作成(聞き取りシート)」を使って作成していきます。お気軽にお問い合せ下さい。

役割分担の確認表

学校の先生	施設	全体指導者
□ 実施場所の関する情報収集	□ 施設の情報提供(実施できる活動、 宿泊先等)	□ 受け入れ先に関する情報提供(実施 できる活動、宿泊先等)
□ ねらいの設定(教育課程上の目標、 学級目標、児童の実態に即したねらい等)	□ 学校のねらいに沿ったプログラム (案)の作成・提案	□ 学校のねらいに沿ったプログラム(案)の作成・提案
□ プログラムの決定・全体計画の作成	□ プログラム・全体計画の作成 への 助言	□ プログラム・全体計画の作成 への助言
事前学習〔集団宿泊活動に取り入れる教科学習の効果を高めるための事前学習、集団宿泊活動の準備に関わる事前学習〔児童の係分担等〕〕	□ 事前学習への協力(活動に関する情報提供・助言)	□ 事前学習への協力(活動に関する情報提供・助言)
□ 実地踏査	□ 施設の活動場所の案内	□ 実施場所の案内
□ 危機管理体制の整備	□ 危機管理体制の整備に対する助言	□ 危機管理体制の整備に対する助言
□ 保護者説明会の開催(ねらい、日程、 教育的意義、家庭での協力事項、持 ち物、準備等)		□ 保護者説明会での補助
□ 受け入れ先と連絡・調整(活動・宿 泊の申込)	□ 学校との連絡・調整(活動・宿泊の 申込)	□ 受け入れ先との連絡・調整(宿泊先 担当者へのねらいの説明、協力事項 の確認)
□ しおり、名簿、教材等の作成		
□ 運営会議(スタッフミーティング) の開催		□ 指導者間での情報共有(ねらい・役割の確認・明確化、活動の提供方法の工夫等)

学校の先生	施設	全体指導者
□ 児童の引率		
□ 生活指導		
□ 配慮の必要な子どもへの支援		
□ プログラム全体の進行(担当部分)	□ プログラムの進行状況の把握	ロ プログラムの進行状況の把握
□ 活動の導入やまとめ(担当部分)	□ 活動の導入(担当部分)	□ 各活動の導入やまとめ(担当部分)
	□ 活動の指導(担当部分)	□ 学校の先生との進捗状況の確認
		□ 活動の指導又は指導補助
		□ 生活面の指導補助
□ 教材、道具の準備(担当部分)	□ 教材、道具の提供	□ 教材、道具の準備(担当部分)
□ 安全管理	□ 安全管理	□ 安全管理(主に活動場面)
□ 評価に向けての観察や記録		
□ 出納管理		

◆事後 □ 事後指導 □ 事後学習への協力

□ 事後指導	□ 事後学習への協力	□ 事後学習への協力
□ 評価(児童の評価、活動の評価)		□ 活動の評価への協力
		□ 受け入れ先へのフォローアップ(情報提供・助言)



〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川4393-82 TEL 0866-56-7232 FAX 0866-56-7235

ホームページ http://kibi.niye.go.jp/ | 古備青少年 | 検索 平成 22 年度 国立吉備青少年自然の家 調査研究事業「小学校長期自然体験活動プログラム開発」

効果的な宿泊体験のススメ

~学校と施設職員、全体指導者でつくるプログラム~







/ 学校を離れて行う「集団宿泊活動」は,通常の学校生活では行うことができない自然体験や交流体験など,様々な体験活動ができます。

「小学校学習指導要領解説 特別活動編」では、「望ましい人間関係を築く態度の形成などの教育的な意義が一層深まるとともに、高い教育効果が期待されることなどから、学校の実態や児童の発達の段階を考慮しつつ、一定期間(例えば1週間(5日間)程度)にわたって行うことが望まれる。」と長期の集団宿泊活動の推進を提示しています。

そこで全国の青少年教育施設等では、先生方の負担を軽減し、教育効果の高い集団宿泊活動を円滑にするために、「自然体験活動指導者養成研修」を実施し、体験活動の指導をしたり、教員等の指導補助として青少年の健康、安全等生活に関わる指導を行う指導者を養成しています。

国立吉備青少年自然の家では、この指導者(全体指導者)の学校へのサポートがスムーズに実施してきるように、施設の研修支援の範囲を拡大する取り組みをモデル校と協力して実施いたしました。効果的な宿泊体験を実施していく上で、企画作りの支援、評価指標づくりの支援、当日の運営の支援など、ぜひこの取り組みを参考にしていただくことで、今後の集団宿泊活動が有意義な研修となることを願っております。

国立吉備青少年自然の家

所 長 井上 信一

